

北海道浮魚ニュース

平成 17(2005)年度 6号 (通巻 No.195)

2005年 7月 4日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

道西日本海スルメイカ調査結果 (おやしお丸 : 6/21 ~ 6/30 の調査)

分布密度は低く, 魚体サイズは前年より小型

スルメイカの分布密度と大きさ

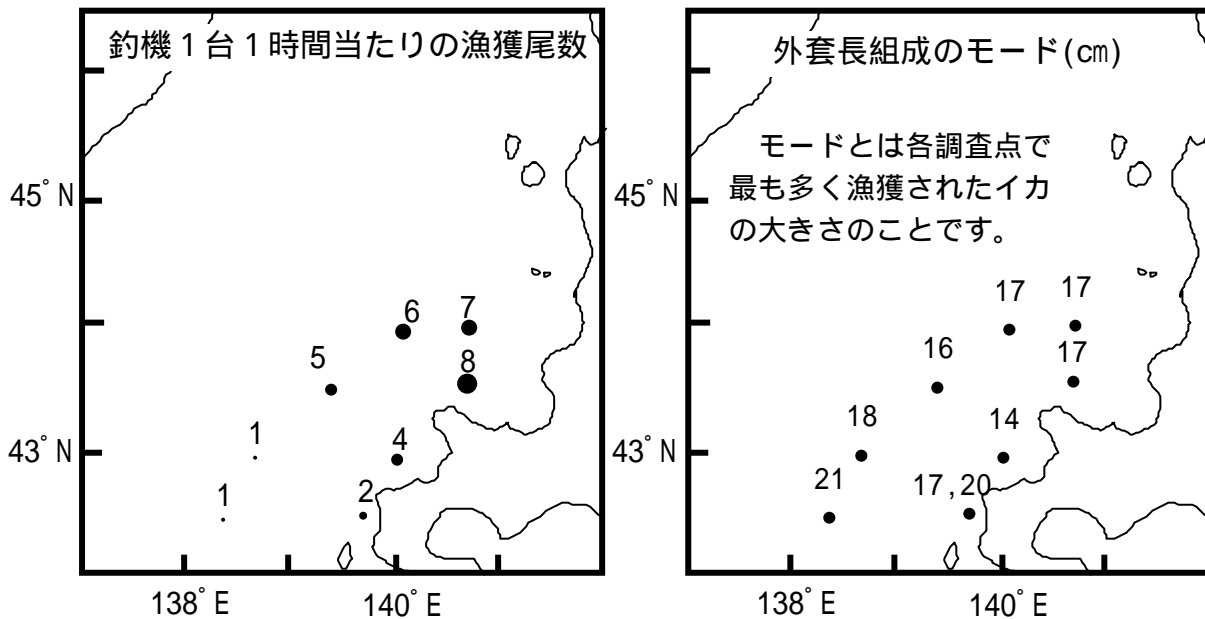


図 1 道西日本海におけるスルメイカの分布密度と大きさ

スルメイカの分布密度 (CPUE : 自動いか釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は 1~8 でした (図 1 左側)。南の調査点の方が, 北の調査点よりも低くなっていました。調査全体の平均 CPUE は 4 と前年 (11) より低く, 過去 10 年間で最低の値でした (図 2)。

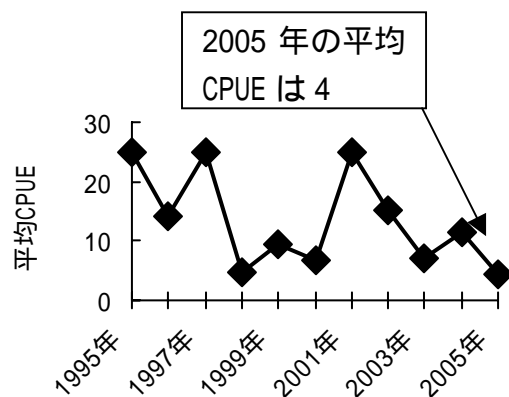


図 2 平均 CPUE の経年変化

各調査点におけるスルメイカ外套長のモードは 14cm から 21cm で, 南側の調査点の方が大きい傾向にありました。調査海域全体では, 外套長モードが 15~16cm と前年 (2004 年 : 17~18cm) よりも小さいイカが多くなっていました (図 3)。

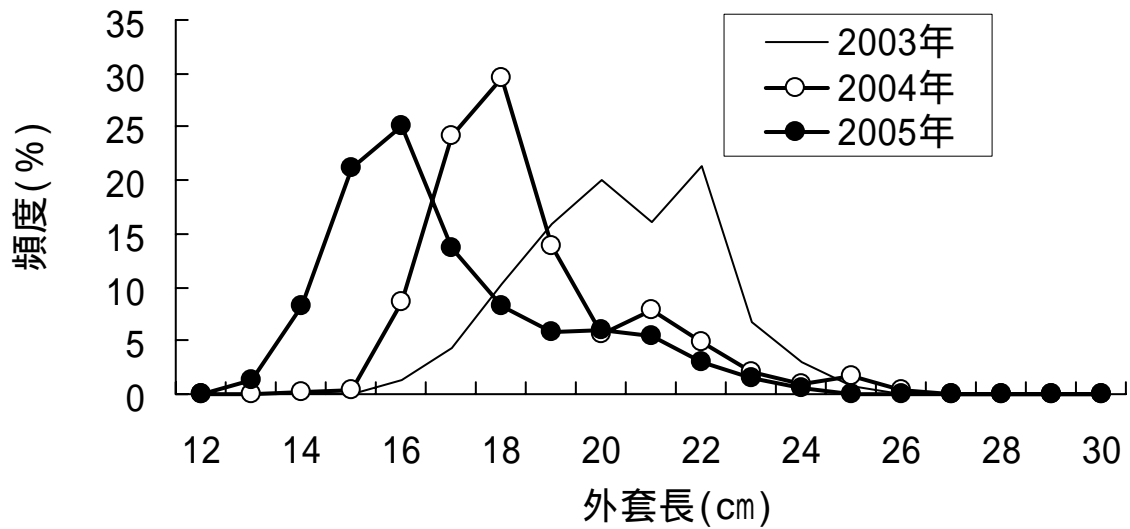
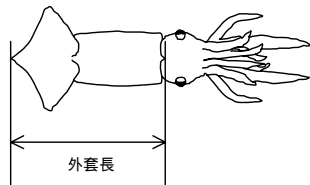


図3 調査海域全体の外套長組成



水温分布

調査海域の 50m 深水温は、4～11 台でした。前年に比べると、積丹半島の北側では水温が低く、沖合では水温が高い傾向が見られました(図4)。

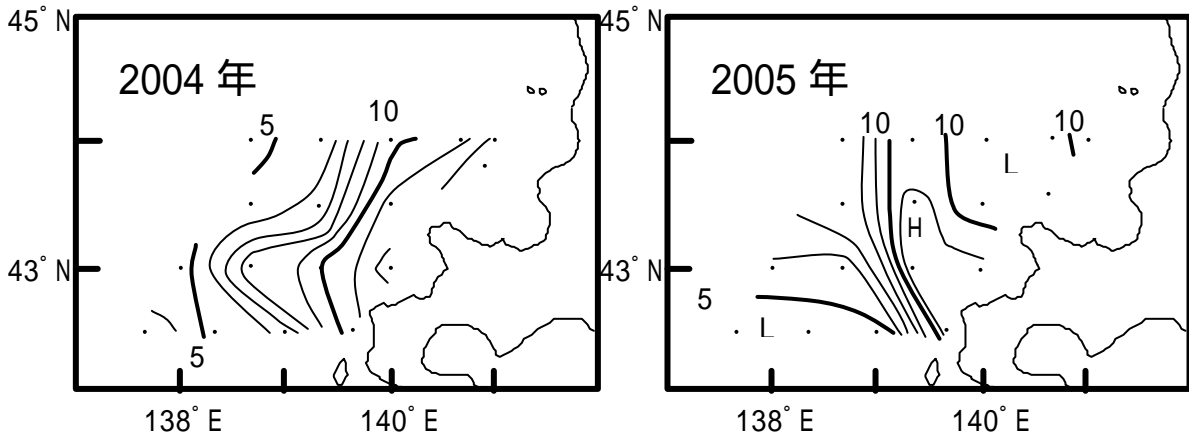


図4 6月下旬の50m深水温分

今回の調査は「日本海スルメイカ漁場一斉調査」の一環として実施しました。全船の調査終了後、漁況予報が発表されます。

(文責：中央水産試験場資源管理部，TEL:0135-23-8707，FAX:0135-23-8709)